

## Enduracidin の臨床使用経験

院長 堂野前 維摩卿

立花暉夫・秋田芳弥 荒武和彦 高岡愛明

大阪府立病院内科

井上彦八郎・三瀬 徹・宮川光生・高橋香司

大阪府立病院泌尿器科

最近、わが国において発見された新抗生物質 Enduracidin について基礎的、臨床的検討を行なった。

## I. 基礎的検討

患者分離の *Staphylococcus aureus* 53 株に対する Enduracidin の *in vitro* 感受性を階段稀釈法により tripticase soy agar を用いて検討し、1 濃度ディスク法によつて検討した他の抗生物質の感受性との比較検討を行なった。

その結果、表1のごとく Enduracidin の MIC は、

表1 *Staphylococcus aureus* に対する Enduracidin の *in vitro* 抗菌力

検査株数	MIC (mcg/ml)				
	0.625	1.25	2.5	5.0	10.0
53	13	28	5	4	3

10 mcg/ml 3 株、5 mcg/ml 4 株、2.5 mcg/ml 5 株、1.25 mcg/ml 28 株、0.625 mcg/ml 13 株であり、大部分の菌株が 1 mcg/ml 前後で発育を阻止された。また、PC, EM, SPM, TC, CER, KM, SM, CP などの他の抗生物質との間に交叉耐性を認めなかつた。

## II. 臨床的検討

Gram 陽性球菌による呼吸器感染症、尿路感染症 7 例に対して、Enduracidin を投与した。症例の内訳は、表2のごとく、慢性呼吸器疾患（肺線維症 2 例、肺気腫＋気管支喘息 1 例、肺癌 2 例、肺結核 1 例）に合併した呼吸器感染症計 6 例、前立腺肥大＋尿路感染 1 例で、年齢構成は 30 才代 2 例、50 才代 1 例、60 才代 4 例であつた。原因菌としては *Staph. epidermidis* 単独感染 1 例、*Staph. aureus*, *Staph. epidermidis*,  $\beta$ -*Strept.* などと Gram 陰性桿菌の混合感染 6 例であつた。

表2 Enduracidin による治療成績

症例 No.	性	年齢	臨床診断	病原菌	Enduracidin 投与方法		効果	副作用
					1日投与量(筋注)	投与期間		
1	男	37才	前立腺肥大＋尿路感染	<i>Staph. epid.</i>	100 mg	1週	改善 菌消失 尿所見改善	なし
2	女	35才	肺結核症＋呼吸器混合感染	<i>Staph. epid.</i> <i>Ps. aer.</i>	100 mg	1週	改善 <i>Staph.</i> 消失 白血球数正常化	なし
3	男	69才	肺線維症＋呼吸器感染	<i>Staph. epid.</i> <i>Alk. faecalis</i>	100 mg	10日	改善 <i>Staph.</i> 消失 38℃の発熱の平熱化	なし
4	男	65才	肺線維症＋呼吸器感染	<i>Staph. aur.</i> $\alpha$ - <i>Strept.</i> <i>Ps. aer.</i>	100 mg	12日	改善 <i>Staph.</i> , <i>Strept.</i> 消失 赤沈値改善	なし
5	男	62才	転移性肺癌＋呼吸器感染	<i>Staph. epid.</i> $\alpha$ - <i>Strept.</i> <i>Serratia</i>	100 mg	2週	軽度改善 膿性喀痰減少 激しい咳嗽の改善	なし
6	女	55才	肺癌＋呼吸器感染	$\beta$ - <i>Strept.</i> <i>Kl. pneum.</i>	100 mg	1ヵ月	軽度改善 膿性喀痰減少 38℃の発熱の平熱化	なし 肝機能、 腎機能、 検尿所見 検血所見 異常なし
7	男	65才	肺気腫＋気管支喘息＋呼吸器感染	<i>Staph. aur.</i> <i>Ps. aer.</i>	100 mg	1ヵ月	軽度改善 <i>Staph.</i> 消失 膿性喀痰減少 喘息発作著減	

Enduracidin 投与方法は、100 mg/日、1回/日筋注、投与期間は1週より1カ月に及んだ。その内臨床的、細菌学的にみて明らかに改善を示したものは4例、軽度改善を示したものは3例であつた。

副作用としては、特記すべきものはなく、注射痛もわれわれの症例については他の抗生物質に比して差がなく、長期使用症例(症例No. 6,7)についても、投与前後で、肝機能、腎機能、検尿、検血所見などに異常を認めなかつた。

### III. 結 論

1. 最近分離せる *Staph. aureus* 53 株の階段稀釈法による *in vitro* の Enduracidin 感受性は、大部分の菌株が 1 mcg/ml 前後の感受性を示した。

2. Gram 陽性球菌による呼吸器感染症、尿路感染症計7症例に Enduracidin を投与(筋注)して、投与した全例に臨床的、細菌学的にみてある程度の効果を認めた。

## TREATMENT OF GRAM POSITIVE BACTERIAL INFECTIONS WITH NEW ANTIBIOTIC ENDURACIDIN

IMASATO DONOMAE, TERUO TACHIBANA, YOSHIYA AKITA, KAZUHIKO ARATAKE,  
AIMEI TAKAOKA, HIKOHACHIRO INOUE, TORU MISE,  
MITSUO MIYAGAWA & KOJI TAKAHASHI  
Osaka Prefectural Hospital

The *in vitro* antibacterial activity of new antibiotic enduracidin against gram positive bacteriae and the clinical therapeutic effect of this antibiotic on gram positive bacterial infections was studied by us.

1. The *in vitro* sensitivity of enduracidin was measured by serial dilution method with freshly isolated strains of *Staph. aureus*. Most of strains were inhibited by 1.0 mcg/ml.

2. Seven patients with gram positive bacterial infections and mixed infections of gram positive and negative bacteriae were treated with enduracidin. All patients were administered 100 mg of enduracidin intramuscularly once daily and the treatment period was about a week to a month. With respect to the clinical symptoms and clinical examination, enduracidin treatment showed good clinical results. Any side effect was not found by enduracidin therapy.